

楽市獅子舞【らくいちししまい】



開催場所

飯塚市楽市
天満神社

開催日

10月11日・10月12日

【芸能の概要】

楽市の獅子舞は筑穂町大分八幡宮の獅子舞の流れをくんでおり、穂波町の樺八幡宮から獅子舞を教わったと伝えられていることから、200年以上の歴史を持つものと推察されるが、詳細は定かではない。地元の人々の記憶では、昭和初期にお宮と4~5軒の家で舞っていたとのことである。獅子舞は開始されて以降、継続して行われ続けてきたと思われるが、第二次大戦中は休止。昭和26年に復活したが、昭和35年から昭和49年の間は再び休止。しかし昭和50年に楽市獅子保存会が作られ、以225口ら 54dか50

舞は氏子の家ではイリとノリを、神社ではイリ、ナカ、ノリを舞う。イリとナカは雌雄の獅子が横に並んだ状態から仲睦まじい様子を表現している舞で、ノリは雌雄の獅子が対峙した状態から激しい舞が舞われる。また、最後に舞う氏子の家と、昔、楽市に獅子舞を伝授した人の生家では神殿入りが行われる。神殿入りは雌雄の獅子が同時に駆け出し、ほろを獅子頭に納めるまでの時間を競う。

【使用する祭具・道具など】

獅子舞の楽は大太鼓、小太鼓、笛、鉦であるが、大太鼓は子供が交互に入れ替わって太鼓を打ち鳴らす、まわり打ちで囃される。

・アクセス

西鉄バス新道バス停より徒歩5分

・周辺の観光

大将陣公園、穂波町郷土資料館、桜のトンネル。
桜まつり(4月)、天道花火大会(8月)、植根祭(9月)

・近くの特産品

いちご、巨峰、桜。

